

千葉市の「地方創生」のための市民等アンケート結果【中間報告】

■調査の概要

市民アンケート (注)以下の回収数は中間集計。
 ○調査対象 市内在住の18歳から49歳の3,000人
 ○回収数(率) 734票(24.5%)

本市への転入理由等に関するアンケート
 ○調査対象 3年以内に本市に転入された18歳以上の2,000人
 ○回収数(率) 587票(29.4%)

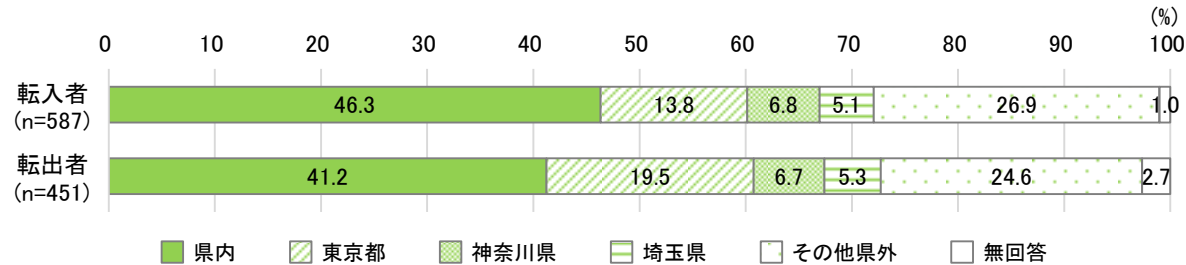
転出時の状況等に関するアンケート
 ○調査対象 3年以内に本市から転出された18歳以上の2,000人
 ○回収数(率) 451票(22.6%)

(注)・図表中の(n=*)は集計母数を表す。
 ・回答の比率(%)は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると100%を超えることがある。
 ・回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがある。
 ・この資料の2・3・5・6については、「1位・2位・3位・4位」の回答にそれぞれ「4・3・2・1点」を与え、その合計を全回答数(無回答を除く)で除し点数化している。

■調査の結果

1. 転入出状況について

(1) 転入元と転出先〔転入問2・転出ア③〕



千葉市への転入元は「県内」が約46%、「東京都」が約14%で、このうち県内では船橋市、市原市が上位(県内転入者の約17%、約13%)。一方、千葉市からの転出先は、「県内」が約41%、「東京都」が約20%で、このうち県内では習志野市、船橋市が上位(県内転出者の約15%、約12%)。転入元よりも転出先として、「東京都」の割合が高い。

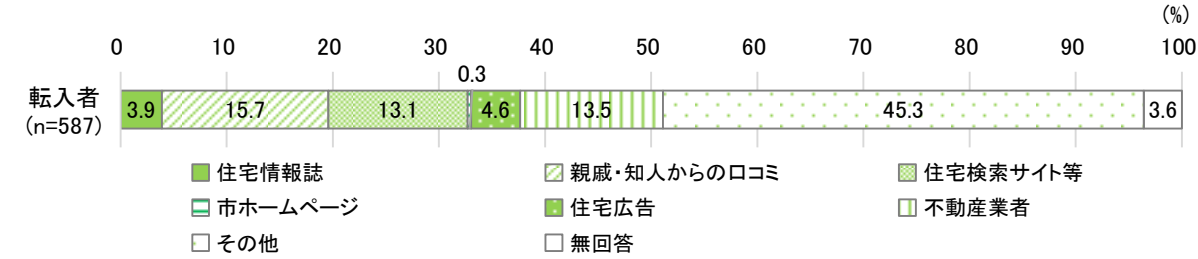
参考：転入元と転出先の自治体

【転入前居住地】					【転出後居住地】				
県内(位)	自治体	人数	県内割合(%)	全体割合(%)	県内(位)	自治体	人数	県内割合(%)	全体割合(%)
1	船橋市	47	17.3	8.0	1	習志野市	27	14.5	6.0
2	市原市	36	13.2	6.1	2	船橋市	23	12.4	5.1
3	習志野市	24	8.8	4.1	3	佐倉市	16	8.6	3.5
4	四街道市	20	7.4	3.4	4	市原市	15	8.1	3.3
5	浦安市	14	5.1	2.4	5	四街道市	13	7.0	2.9
6	市川市	14	5.1	2.4	6	市川市	13	7.0	2.9
7	八千代市	13	4.8	2.2	7	八千代市	9	4.8	2.0
8	大網白里市	11	4.0	1.9	8	柏市	6	3.2	1.3
9	東金市	10	3.7	1.7	9	八街市	6	3.2	1.3
10	松戸市	7	2.6	1.2	10	鎌ヶ原市	4	2.2	0.9
千葉県計					千葉県計				
272					186				
46.3					41.2				

東京都					神奈川県					埼玉県				
都内(位)	自治体	人数	都内割合(%)	全体割合(%)	都内(位)	自治体	人数	都内割合(%)	全体割合(%)	都内(位)	自治体	人数	都内割合(%)	全体割合(%)
1	江戸川区	10	12.3	1.7	1	川崎市	13	43.3	2.9	1	さいたま市	4	13.3	0.7
2	葛飾区	6	7.4	1.0	2	横浜市	6	20.0	1.3	2	川口市	3	10.0	0.5
東京都計					神奈川県計					埼玉県計				
81					40					30				
13.8					6.8					5.1				

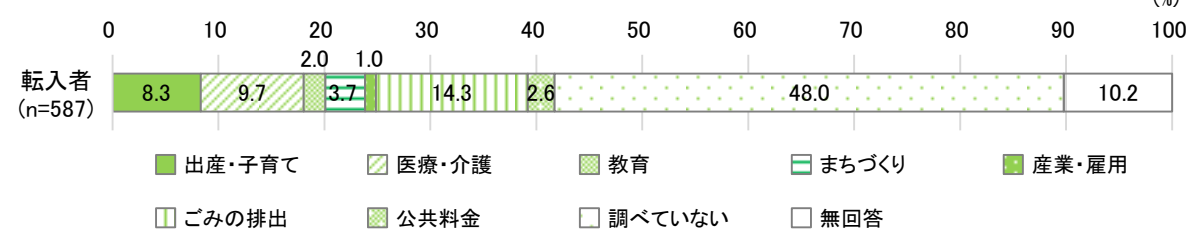
(2) 転入出のきっかけ等

◆千葉市を知ったきっかけ〔転入問7〕



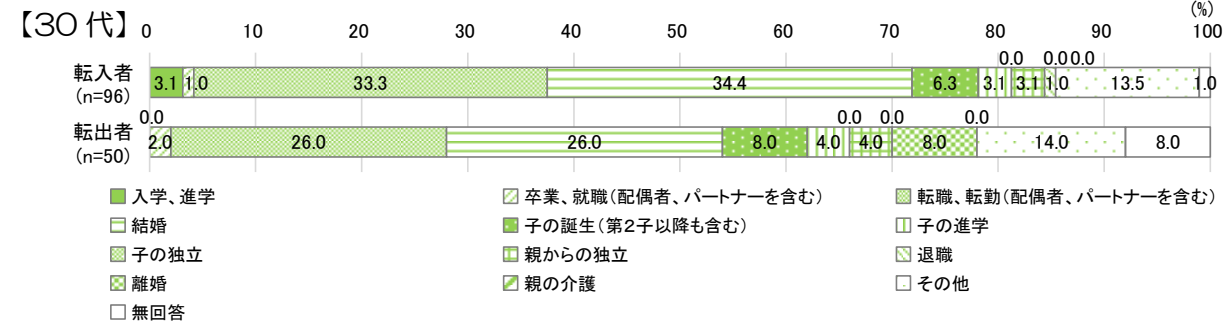
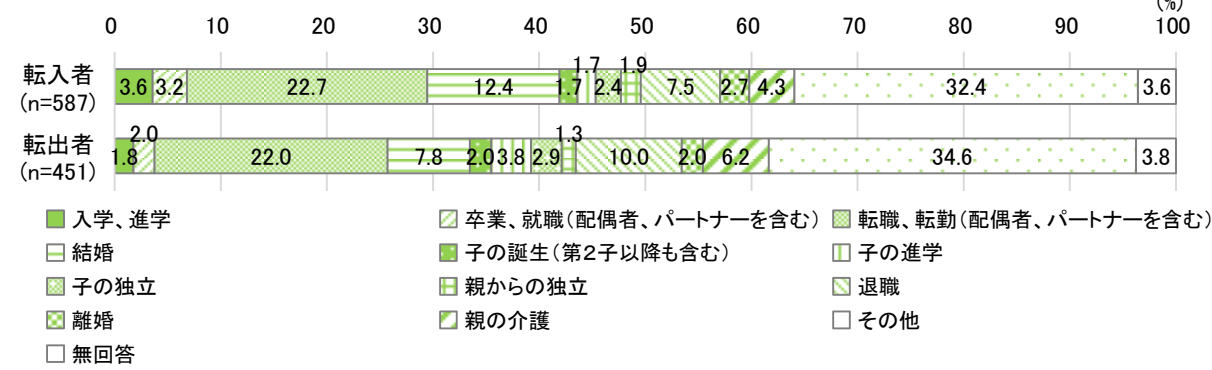
千葉市を知ったきっかけは、「親戚・知人からの口コミ」「住宅検索サイト等」「不動産業者」がそれぞれ15%前後。「市ホームページ」の割合は1%未満で非常に少ない。なお、「その他」は具体的には、家族が住んでいたため、転勤、結婚のためなど。

◆転入に際して調べた千葉市の行政サービス〔転入問8〕



「調べていない」が約半数で最も多く、転入に際して行政サービス等はあまり考慮されていない。

◆転入出のきっかけとなった生活上の出来事〔転入出問 10〕

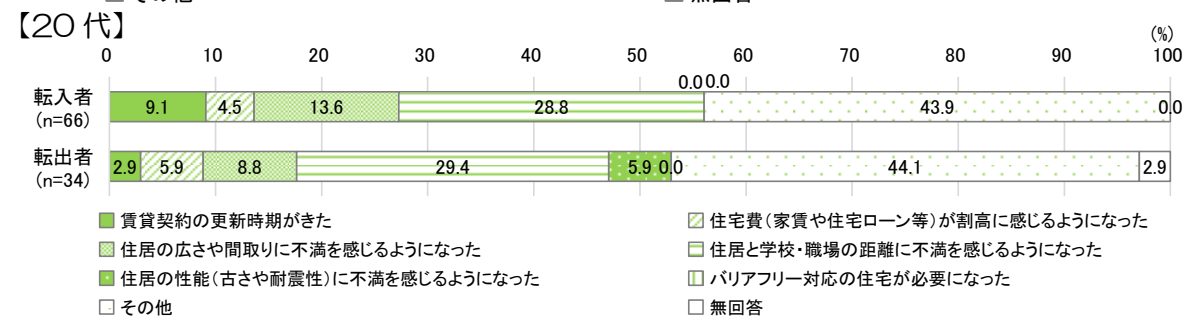
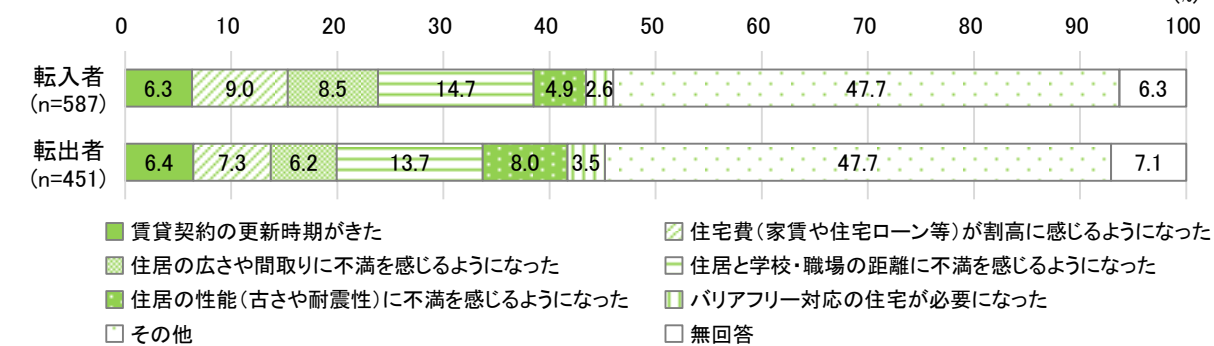


転入出いずれも「転職、転勤」が最も多く、それぞれ20%以上。次いで、転入は「結婚」が約12%、転出は「退職」が10%。転入で「結婚」が多いことに注目。

特に、30代の転入のきっかけとしては「転職、転勤」とともに「結婚」の多さが特徴。

なお、転入出ともに、「その他」は具体的には、親や子どもとの同居・近居のためなど。

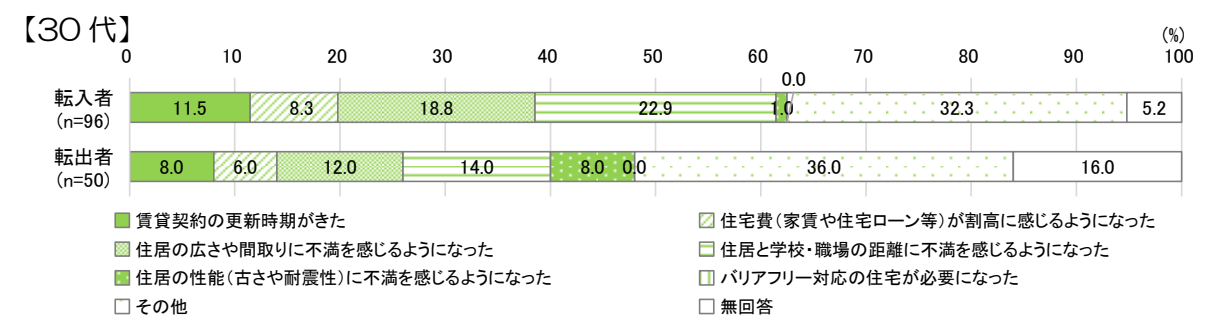
◆転入出のきっかけとなった住宅上の出来事〔転入出問 11〕



転入出いずれも、「住居と学校・職場の距離に不満を感じるようになった」が約14~15%で、最も多い。この傾向は、どの年齢においても見られるが、特に20代で顕著。

なお、「その他」は具体的には、住宅上の事情はなし、子どもとの同居・近居のためなど。

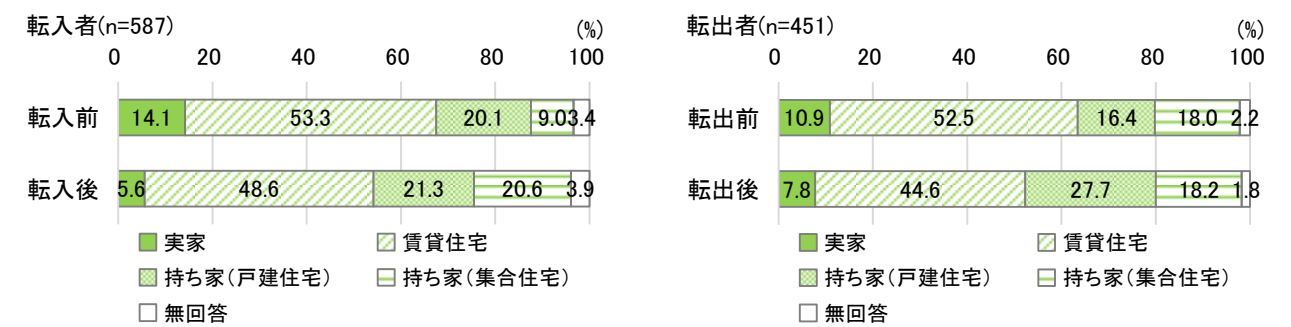
◆転入出のきっかけとなった住宅上の出来事 (つづき)



特に30代の転入出のきっかけとしては「住居と学校・職場の距離」とともに「住宅の広さや間取り」への不満が多いことが特徴。

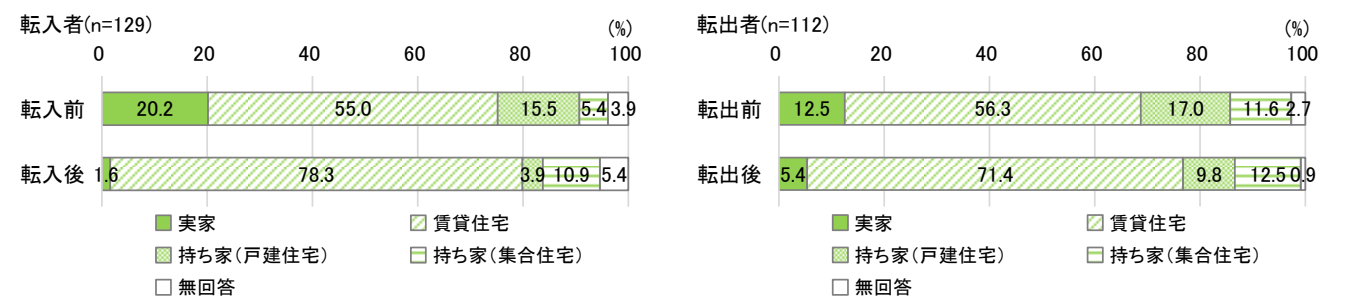
30代は、結婚等を機に、ライフスタイルに合った住宅を求めていることがうかがえる。

(3) 居住関係の変化〔転入出問 9〕



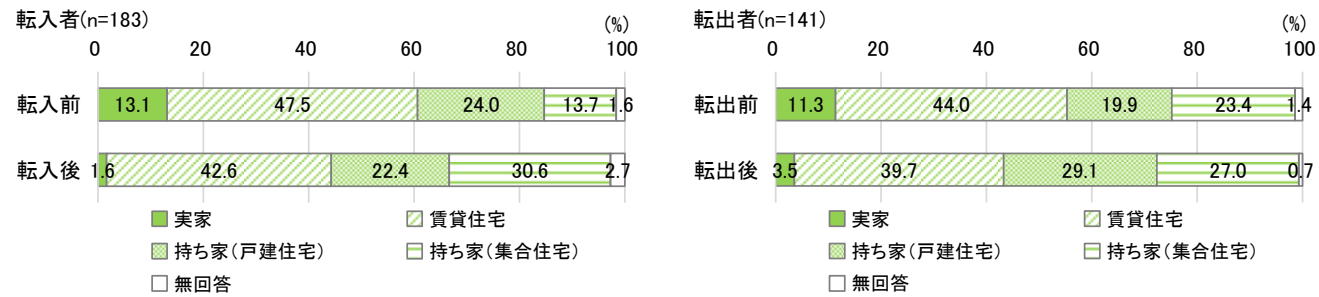
転入後は「実家」が約9%、「賃貸住宅」が約5%減少し、「持ち家(集合住宅)」が約12%増加。転出後は「賃貸住宅」が約8%減少し、「持ち家(戸建住宅)」が約11%増加。転入・転出を機に、賃貸住宅が減り、持ち家が増える傾向が見られるが、「持ち家」のうち、転入後は「集合住宅」の割合が増える一方、転出後は「戸建住宅」の割合が増える。

【一人暮らし】



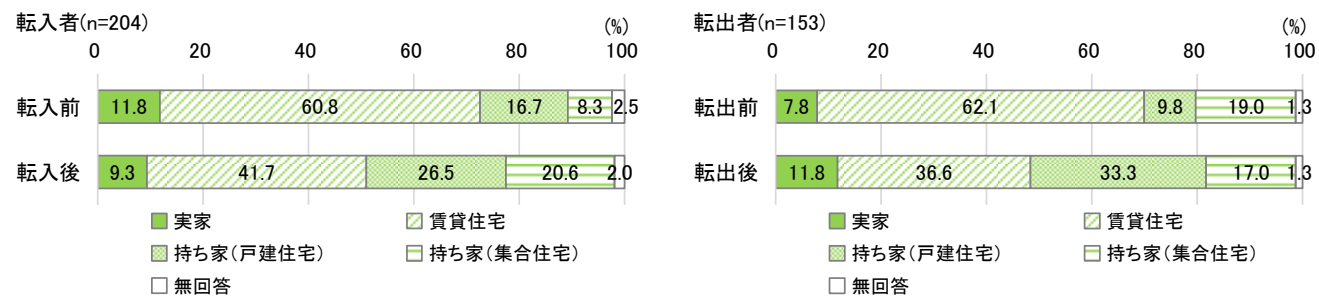
一人暮らしは転入出とも「実家」が減り、「賃貸住宅」へ。

【夫婦のみ】



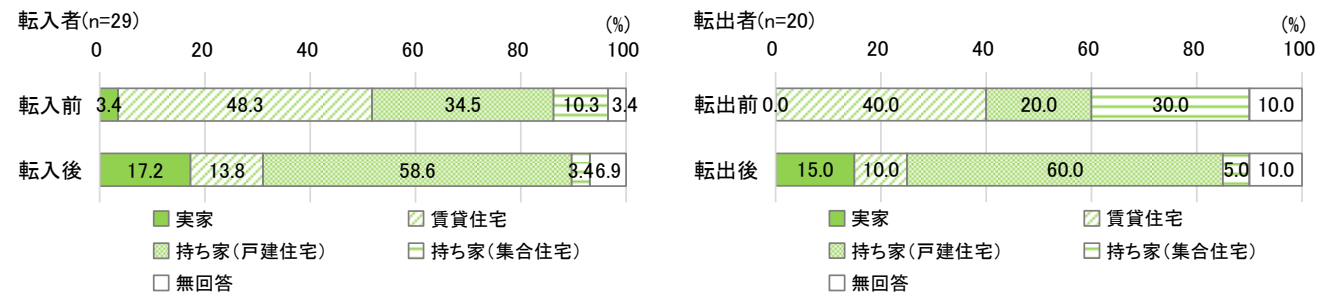
夫婦のみの転入は「持ち家（集合住宅）」を選好。転出後は「持ち家（集合住宅）」または「持ち家（戸建住宅）」が多い。

【2世代（親・子）】



2世代世帯は、転入出とも「持ち家（戸建住宅）」が大幅に増えるが、転出より転入は「賃貸住宅」が残る。

【3世代（親・子・孫）】



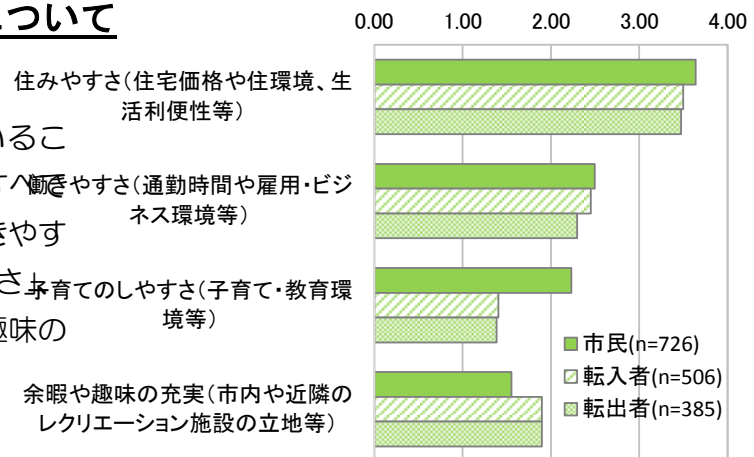
3世代世帯は、転入出とも「持ち家（戸建住宅）」と「実家」が大幅に増えている。

2. 居住地選択のポイントについて

〔市民問8・転入出問12〕

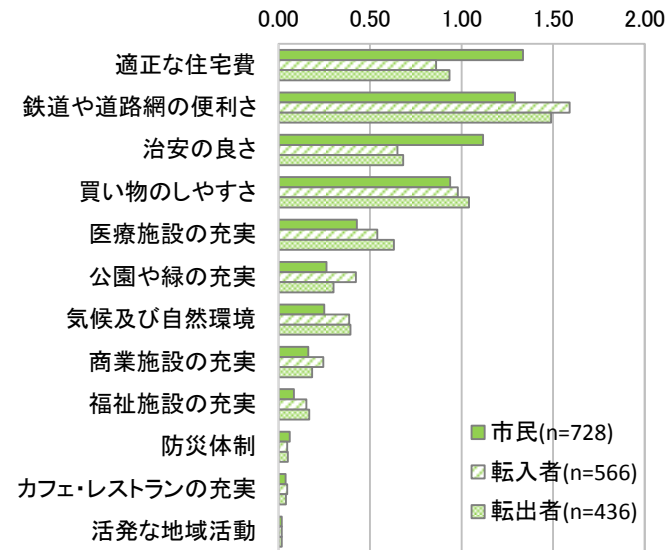
住む場所を決める際に重視していること

について、市民・転入者・転出者すべてにおいて、1位は「住みやすさ」、2位は「働きやすさ」。市民の3位は「子育てのしやすさ」、転入者・転出者の3位は「余暇や趣味の充実」。

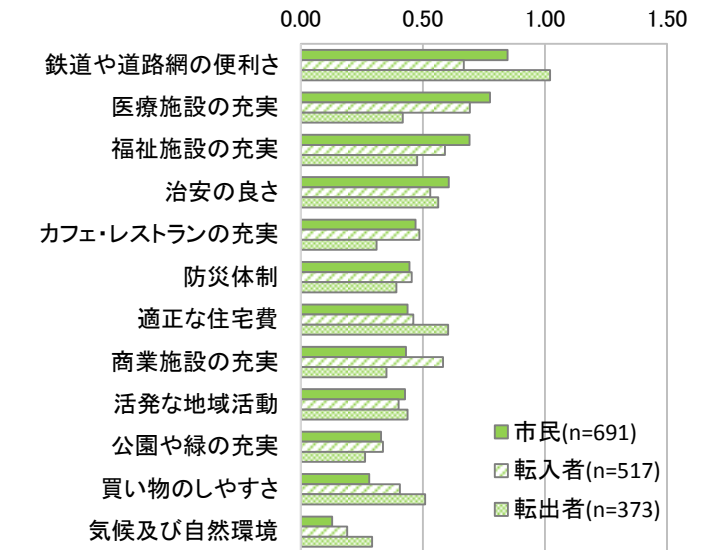


3. 「住むこと」について

◆重視するもの〔市民問9・転入出問13〕



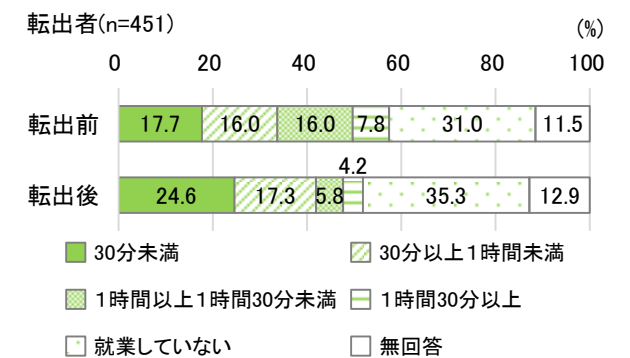
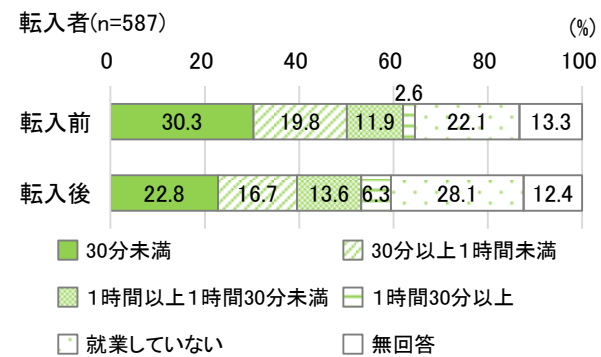
◆千葉市に足りないもの〔市民問10・転入出問14〕



市民・転入者・転出者いずれも「鉄道や道路網の便利さ」が上位だが、千葉市では不足感がある。一方、重視するもので上位の「適正な住宅費」「買い物のしやすさ」は、相対的に充足しており、千葉市の売りとも言える。ただし、転出では「適正な住宅費」の不足感が残る。

このほか、市民・転入者は「医療施設の充実」「福祉施設の充実」の不足感がある。

4. 「働くこと」について〔転入出問16〕



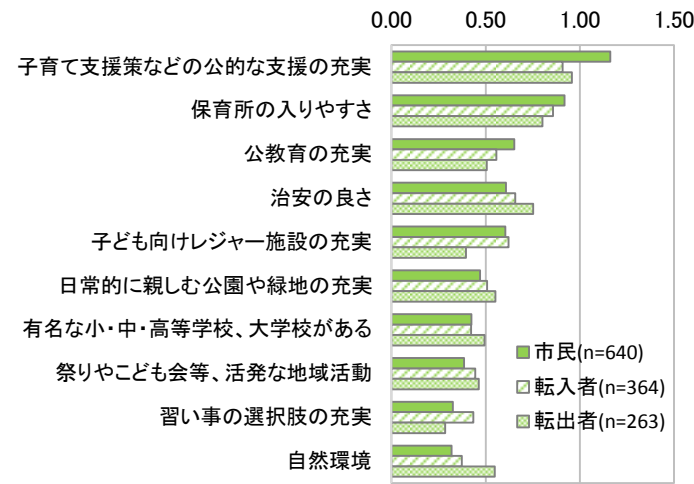
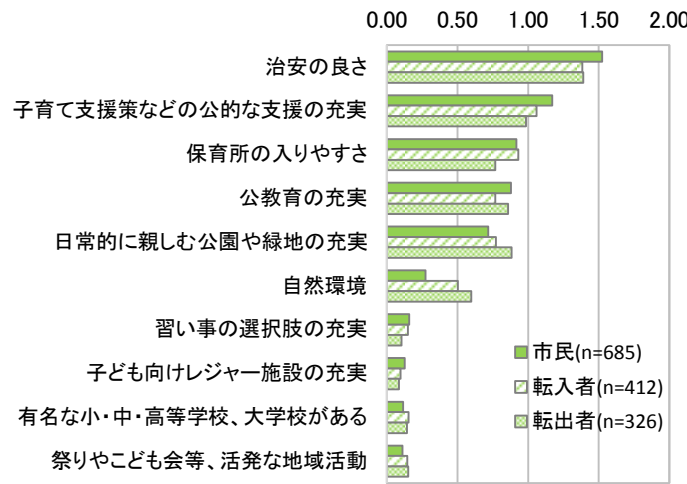
転入後の通勤時間は、「30分未満」が約8%減少し、「1時間以上」が約5%増加。転出後の通勤時間は、「30分未満」が約7%増加し、「1時間以上」が約14%減少。

通勤時間は、転入で増え、転出で減っており、市内では就業できていないことがうかがえる。

5. 「育てること」について

◆重視するもの〔市民問 15・転入問 19・転出問 18〕

◆千葉市に足りないもの〔市民問 16・転入問 20・転出問 19〕



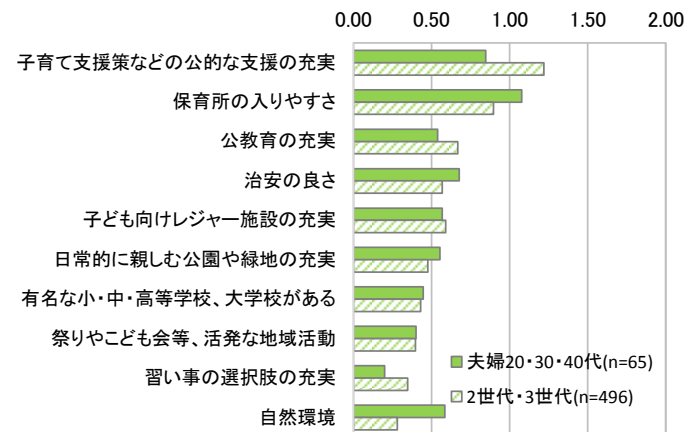
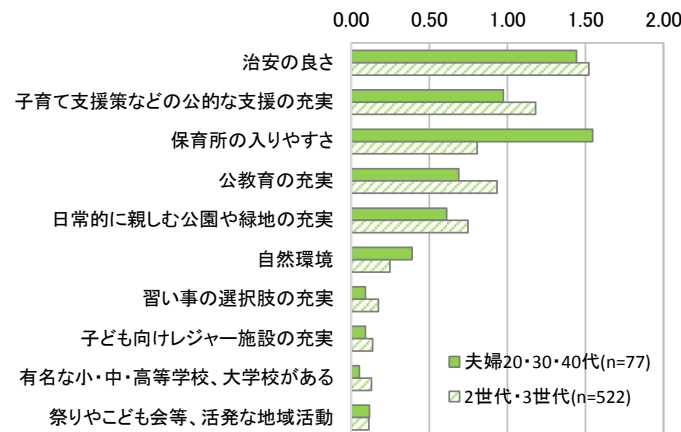
市民・転入者・転出者すべて「治安の良さ」を最も重視。「子育て支援策など公的な支援の充実」「保育所の入りやすさ」も上位だが、千葉市ではなお不足感がある。

【家族構成が「夫婦のみ（20代・30代・40代）」と「2世代（親・子）+3世代（親・子・孫）」】

◆重視するもの

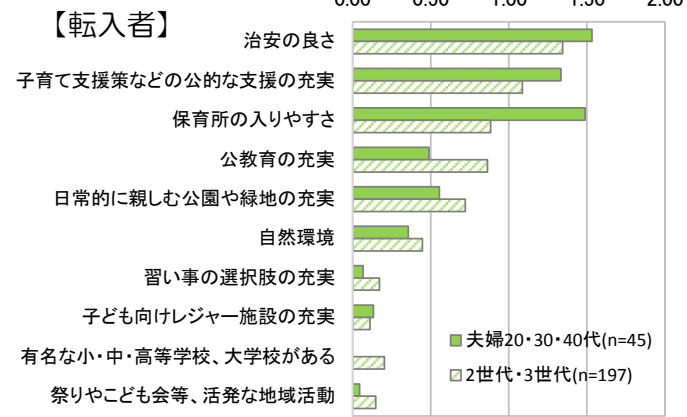
◆千葉市に足りないもの

【市民】

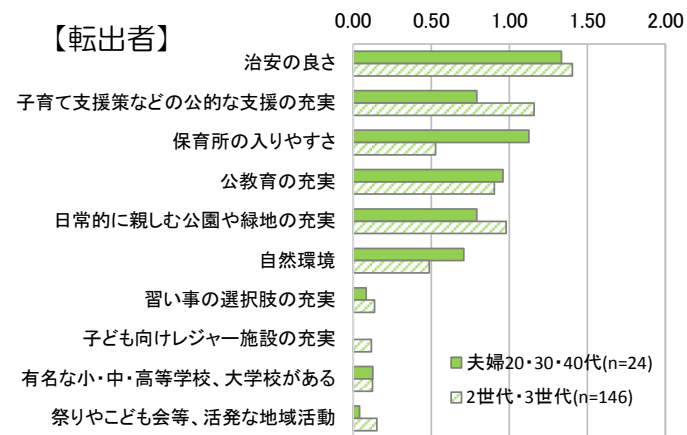


特に夫婦のみ（20代・30代・40代）は「保育所の入りやすさ」を重視しており、千葉市に不足感がある。

保育所への不安が妊娠への意欲を妨げる可能性も考えられる。



夫婦のみ（20代・30代・40代）転入者の保育所への不安は市民と同様。また2世代・3世代世帯は「治安」に不安を感じている。

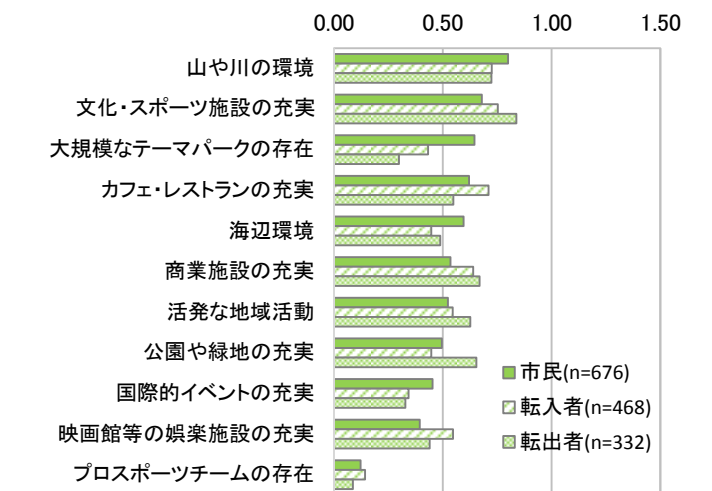
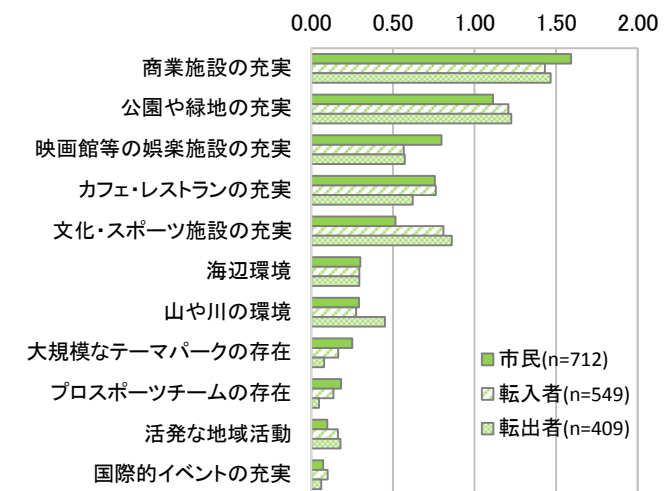


2世代・3世代世帯の転出者は「治安」に不安を感じている。子どもを育てるには治安も重要。

6. 「楽しむこと」について

◆重視するもの〔市民問 20・転入問 24・転出問 23〕

◆千葉市に足りないもの〔市民問 21・転入問 25・転出問 24〕



市民・転入者・転出者いずれも「商業施設の充実」「公園や緑地の充実」「映画館等の娯楽施設の充実」が上位で、これらは相対的に充足している。一方、重視するもので上位の「カフェ・レストランの充実」「文化・スポーツ施設の充実」は不足感がある。